

乳腺外科に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名]

術前レトロゾール治療の効果予測因子としての再発リスクスコア結果の検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 山下 啓子 (乳腺外科・教授)

[研究の目的] 乳癌疾患において術前内分泌療法の効果予測検査の調査研究。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

乳がんの患者さんで、平成 20 年 10 月 7 日～平成 28 年 4 月の間に、「レトロゾールによる術前内分泌療法が奏功した閉経後乳がん患者に対する術後化学内分泌療法と内分泌単独療法のランダム化比較試験」の研究用の乳癌組織の保管に同意された方

○利用する検体・カルテ情報

検体：乳がん組織 (術前内分泌療法前の針生検検体)

カルテ情報：診断名、年齢、身体所見、検査結果 (血液検査、画像検査)、術後経過

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院乳腺外科 担当医師 山下 啓子

電話 011-706-7381 FAX 011-706-7384